

第8回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員(16名)

太田博久 委員、太田深穂 委員、小口泰史 委員、笠原新太郎 委員、上沼隆弘 委員、
小林妙子 委員、薩摩建 委員、高見澤恒子 委員、武田彰 委員、中畑聖二郎 委員、
中村進 委員、中村文明 委員、新田隆史 委員、林幸夫 委員、山崎舜次 委員、
横内文雄 委員

(※欠席者…今井誠 委員、唐澤剛 委員、齋藤博子 委員、中山昇 委員 以上4名)

○第5次岡谷市総合計画策定本部(4名)

(本部長) 岡谷市長 今井竜五、

(副本部長) 副市長 小口明則、教育長 岩本博行

(本部員) 企画政策部長 岩垂俊男

(事務局)

企画課長 岡本典幸

企画課統括主幹 松村佳江

企画課主幹 宮坂征憲

同 味澤勝一

同主事 水澤優馬

第8回岡谷市基本構想審議会 会議録

平成30年11月28日（金）

午後1時30分～午後3時00分

市役所9階大会議室

1 開会

市民憲章唱和

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 岡谷市基本構想審議会について

企画課主幹	<p>答申(案)について説明させていただく。答申書のとりまとめについては、第7回審議会において、作成方法等をお諮りし、お認めをいただいた。</p> <p>これに基づいて、11月6日火曜日、午後5時から市役所602会議室において正副会長会を開催し、審議を通じて委員のみなさんから寄せられたご意見やご要望などを踏まえ、答申(案)の取りまとめを行った。</p> <p>また、取りまとめました答申(案)につきましては、委員のみなさんに、その内容をご確認いただくとともに、ご意見等をいただくため、郵送により事前配布をさせていただき、修正の有無等についてご回答をいただいた。</p> <p>修正の有無等に係る回答結果は、正副会長を含む委員20名中</p> <ul style="list-style-type: none">●修正なし 16名●修正あり 3名●未回答 1名 <p>となっている。</p> <p>「修正あり」とご回答いただいた委員さんのご意見等については、横内会長との協議を踏まえ、答申案の調整をさせていただいた。</p> <p>以上の経過を踏まえ、最終的にまとめたものを「答申(案)」として、みなさまのお手元にお配りしていますので、よろしくお願ひしたい。</p>
会長	<p>以上のおおりに、ご協議いただいた内容について、正副会長で見直しをさせていただいた。それをみなさまにお送りし、若干の修正をさせていただき、お手元にあるのが最終的な答申(案)になる。その中で、ここはこうしたほうがいいのか等のご意見がありましたら、今回は最後ということで発言いただければと思う。</p>
各委員	<p>(発言する者なし)</p>
会長	<p>特にございませぬか。審議を尽くしたということで捉えていただければ。それでは、第5次岡谷市総合計画(案)に対します、基本構想審議会の答申について(案)のおおりに決定することに異議ないか。</p>
各委員	<p>(異議なしの声)</p>
会長	<p>「異議なし」という声をいただいたので答申として決定とさせていただきます。本日の議題は以上となる。第1回審議会から本日まで間お忙しい中、熱心に審</p>

	議をいただきありがとうございました。
--	--------------------

(2) その他

副会長	事務局より何かございますか。
企画課主幹	第5次岡谷市総合計画に係る審議はこの後の答申をもって終了となるが、みなさまの任期は2年間ということで委嘱させていただいている。今後は岡谷市の創生のために取り組んでいるまち・ひと・しごと創生総合戦略に関わる平成29年度の取り組みについて委員のみなさまからご意見をいただく機会を設けていく。また詳細が決まり次第ご案内をさせていただく。引き続きご協力をお願いしたい。
副会長	ありがとうございました。次に委員のみなさんからなにかあるか。
F委員	今回の答申を受けて、第5次岡谷市総合計画の計画書ができるのはいつ頃になるのか。
企画課主幹	ただいま、計画書の完成時期についてご質問いただいたので、その点も含めて今後のスケジュールについて説明させていただく。 第5次岡谷市総合計画については、基本構想と前期基本計画により構成されている。この基本構想については、岡谷市基本計画の策定に関する条例にもとづいて議会の議決をいただくこととなっている。基本構想については、議会に議案として上程をし、お認めをいただく。基本構想の議決をいただいた後、前期基本計画について庁内で決定をしていく。最終の決定時期は平成31年3月を予定している。すべて決まったところで、製本していく。出来上がり次第、委員のみなさんに配布していく。また、市民のみなさんにも出来上がったことをお知らせするために、広報おかや等を使い周知していくことを予定している。
F委員	届けていただく際に、今ある諮問(案)から議論を受けてどのように変わったをわかりやすくまとめたものについても付けていただければありがたい。
企画課主幹	新旧対象表のようなものについても提供させていただく。
副会長B	その他よろしいか。それではここで休憩とさせていただきます。

4 答 申

平成30年8月24日付30企第34号により諮問された第5次岡谷市総合計画基本構想及び前期基本計画について、岡谷市基本構想審議会が市長に対し答申。

(答申書受領 今井 竜五市長)

5 市長あいさつ

6 その他

企画課長	<p>第5次岡谷市総合計画の審議については、本日を含めて、全部で8回の会議を開催し、熱心なご議論をいただいた。</p> <p>ここで、折角の機会でございますので、限られた時間ではあるが、市長との懇談を行いたいと思う。</p> <p>審議会における審議の様子、ご苦労された点、感想などについて、お話をいただければと思うが、いかがか。</p>
会長	<p>折角の機会であるので、みなさん一言ずつどうか。</p>
D委員	<p>こういった会議に初めて出させていただいた。私も良くわからない中で生活していたが、生活していく中でこうなったらいいなと思っていたことを発言することができてとても良い機会になった。ありがとうございました。</p>
E委員	<p>この第5次岡谷市総合計画が出来上がって、実際に実行されて、みなさんが納得できて素晴らしいまちになれば良いと思う。よろしくお願いします。</p>
F委員	<p>良い機会をいただいて、勉強させてもらいながら、結構わがままな発言をさせていただいた。第5次岡谷市総合計画の将来都市像が「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」ということで、人と人のつながり、絆そして夢と希望が紡がれていくそして、たくましいまちのもとにそういうことが実現されていくというとても素晴らしいと思う。ただ、書くのは簡単。一番大事なことはこの計画が着実に遂行されていくことだと思う。それが市民と一緒にあって実現されていけば良いと思う。私達も傍観者にならずに積極的に参画していきたいと思う。</p>
G委員	<p>今回審議会に参加し、いろいろ勉強することができた。ありがとうございました。その中で消防団という立場としては、消防団の組織、装備を強化することにあたっていただけるということで、大変装備も古くなってきており、そういったところを市のほうで強化していただけることにありがたいと思っている。組織についても若い団員がいないということであるが、みんなで丸となって岡谷市にも協力をいただいて、若い力を入れ、消防団の一番の魅力であるマンパワーを発揮できる組織になるということ、是非、岡谷市、地域の皆さんにもご協力いただければと思う。</p>
I委員	<p>多方面にわたって岡谷市について勉強させていただいた。行政のみなさんが細かく各部署に分かれて多方面にわたって市民生活を守っていることに感銘した。テレビ等で子育てのこと等を見るたびに岡谷市はこういうことはこういう風にやっているということがよくわかった。孫が他市に住んでいるが、岡谷は本当に恵まれていると実感した。なにかある度に守られていると感じると思った。なにかある度に行政に言うのではなく、自分でできることはなにか考えていきたいと思う。ありがとうございました。</p>
K委員	<p>この会議に参加させていただいたことに感謝申しあげる。参加するという立場があったからこそここまで深く知ろう、理解しようとし、今まで恥ずかしながら深く知ろうとしていなかった面もあったなと考えさせられた。この先に向けてどういったことができるかというところで、勝手な意見ばかり言っていたかもしれないが、意見を出させていただいた。すごく自分自身勉強になった。先程発言があったが、計画を立てて持っていても、いかに実行していけるかが大事ですし、KPIという形で目標を決めていただいているのでそれを達成して、更に岡谷市が10年後に向けていい形になることを期待するとともに、私</p>

	<p>達も関わり、岡谷市民の1人として実現していくことに協力していければと感じた。</p>
<p>L委員</p>	<p>働く者の立場で意見をさせていただく機会をいただきありがとうございます。将来構想ということでは、人口減少が進む中で岡谷市を活性化していくということは、生活の仕方の議論も大切だと思うが、この地で働く者の立場に立って、どう働けるかということを考えている。私は岡谷市の市民ではないが、岡谷にある企業、職場で働く岡谷市以外の人々が岡谷市で働いていて良かったと思える環境ができていけばいいのではないかと思う。これからも生活者として、行政でも人口減少は大変な問題だと捉えられているが、労働力不足ということに対して岡谷市として多国籍の人材の活躍についてどのように考えているかお話いただけることがあればお願いしたい。</p>
<p>M委員</p>	<p>全部で8回の会議があったとのことだが、今回が初めての参加ということになってしまい、申し訳ありませんでした。毎月、企画課の方が議事録を送ってくださり、拝見していた。岡谷市のために行政の方が一生懸命会議を開いてくれているということで、青年会議所の人間としてこれからまた一緒に考えていける岡谷市になっていったらいいと思っているのでよろしくお願いします。</p>
<p>N委員</p>	<p>基本構想審議会に参加させていただきありがとうございました。金融機関でも人口減少という問題があり、商業、産業の発展は無くてはならないもの。会議に参加させていただく際に毎回、岡谷市民憲章を唱和させていただいたが、私は下諏訪町の住民で下諏訪にもこのようなものがあるのかと思った。あたたかい心でまじわり、自然を保護し、心身をきたえ、教養を深め、仕事に誇りを持ち、というとても内容がいいことだと思った。まさにこれを目指せば。基本構想審議会もここに繋がってきているのではと思った。市長をはじめ職員のみならずには、大変僭越ではあるが、理想は高くもっていただいて市の先頭に立っていただいてご尽力いただきたい。</p>
<p>Q委員</p>	<p>非常に勉強になった。多岐にわたってカバーされた良い計画だと思うが、長期的な視点で見たときに、こうしたほうが良い、こうしたらもっと暮らしやすいといった市長や行政の方の思い、市民の思いを、時間があれば、次回も含めてもっと練られていったらいいのではと思った。もう一つが女性の参画という部分ではこういった場もそうであるが、市民総参加を掲げているように、若い人も含めて色んな分野の人が参画しやすいような環境になっていけばいいなと思った。これからも微力ながら協力していきたいと思う。ありがとうございました。</p>
<p>R委員</p>	<p>今まで、色んな役をやってきた中で審議会でも色んな意見を言わせていただいたが、実際に経験が活かされたかは疑問なところがあるが、基本計画に携われたことを嬉しく思っている。これからも微力ではあるが、市民として協力をしていきたいと思う。ありがとうございました。</p>
<p>S委員</p>	<p>非常に良い計画ができるのではないかと思うが、この計画を遂行して、良い結果が出るようお願いするとともに、私達もできることは協力していきたいと思うので、よろしくお願いします。</p>
<p>副会長B</p>	<p>今回、改めて勉強させていただく機会をいただき大変ありがたく思っている。これからも市民として住みよいまちづくりのために参画していけたらいいなと思っている。色んな面で勉強させていただきありがとうございました。</p>

副会長 A

部会審議が面白かった。活発にいろんな意見が出て、お立場だったり、人それぞれでいろんな見方、考え方があって、みなさん良いアイデアをお持ちだなと強く感じた。それぞれの意見が勉強になった。

実行していくことが大事という話がありそのとおりでと思うが、私には、これから人口減少といういまだかつて人類が経験したことのないようなそういう変化が起こる中で、色んな予期せぬ今までなかった現象がたくさん出てくる中で10年間であろうかと思う。そうなると、もちろん計画していただいたことをしっかりと着実に実行していくことが大事なことだが、それと同時にこれから今までと違って大事になってくるのは、もしかすると、状況が変わったときにやめなければいけない、変えなければいけないといったことがこれからの時期当然出てくるだろうと思っている。それは、どんな手続きを踏めばいいかというのはあるが、是非そういう柔軟性を持って、しっかりアンテナを立てていただいて、しっかり続けていただくこと続けていただかなければいけないが、明らかに続けても意味がない、効果がないということになったら思い切って変更したり、やめていくということ踏まえて進めていただければと思う。

会長

最後になった。改めてご協力ありがとうございました。会長という職をいただき、初めての経験だったのでどういう形で進めたら一番ベターなのかということ考えた。8回やらせていただいて、いろんな思いがあるということがわかった。みなさんが言われた思いもあり、もう一方で私が勉強しながら感じたことを2、3話をさせていただく。人口減少ということが一番の問題のど真ん中にあると思う。三沢区の区長なので、当然三沢区も影響を受けるということで、今後の予想をしていく中で、いままでの体制から絶対に変えなければならぬことを考えていかないと安心して生活できないかなと思っている。今回10年後の計画ができるが、副会長が言われました、修正も良いと思うが、変化が激しくなってくると思うので、その対応はスピーディーに行っていたかかないといけない。我々は10年という計画について考えていたわけだが、そうではなくて、市のほうでもそういう考え方の人がいて準備はしていると思うが、20年、30年、40年先までシミュレーションとして持っていたほうが良いと思う。将来まで専門的にものを見ることが必要になってくると特に感じた。目先のこともあるが、10年あるいは2025年の問題から始まって、2040年という区切りがあるが、そこらへんをじっくり予想してシミュレーションしていくことが必要ではないか。今回勉強させていただいて感じた。区なのでいろんなことに関わっている。一番の最前線で区民を守っていかなければいけないという立場からすると、いろんな変化を感じ取って、いままでない形が出てくると思うので感じた。

残念だったのは、20人委員がいるが、全員そろったことが一度もなかったこと。忙しいのはわかるので責めるわけではないが、出来たら次回人選をする際には、姿勢が大事だと思うので、全員そろって出来れば最高だったかなと思う。私自身も反省をするところがあるが、部会でも沢山のいろんな角度から意見をいただき、活発に審議がおこなわれたので良い答申ができたと思う。そんな感想です。

市長

委員のみなさんありがとうございました。総合計画というのは、前期5年、後期5年という中で基本構想などいろんなことを考えていかなければいけないが、まちづくりの根幹をなしているものだと認識し、大切にしている。いろいろあったときにここに戻る。ここを原点としていろんなことを考えるといったことで行政としても大切にしている計画。そうした中でみなさんからたくさん意見をいただいた。時代の変化が大変激しいと思っている。特に人口減少という経験してこなかった現象に日本全体が直面しているとのことで、そういった

ことも考慮し、見据えながらまちづくりを進めていく。行政として「そこに住む人の幸せの実現と活力や魅力あるまちづくり」こういったことがよくいわれる。また、市町村という基礎自治体ともいわれており、そこに住んでいる人達と直接接しているのが市町村の役目だと思っている。そういった中で人口減少等のさまざまな課題がこれからも生じてくるかなと思っているが、みなさんにご審議いただいた第5次総合計画をこれから作成していくが、大事にしていきたいと思っている。時代の変化とともに見直しをする必要だということで、これからいろんな計画が出来上がってくるので、個別の計画の中でそういうことに対する対応をしていきたいと思っている。是非、みなさんにはそういった計画にも興味をもっていただき、行政の動きに興味をもっていただき、「ここはこうしたほうがいい」などの忌憚のない意見をこれからもいただきたいと思っている。みなさんからのありがたい意見の中にも「私達も積極的に参加していきたい」とありましたので、是非、協力ご支援いただき、岡谷市を将来にわたって持続可能で住んでいる人達に夢や希望を紡ぎ出せるそんなまちづくりをずっと続けていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。委員から外国人の労働者の課題について聞かれた。国の方でも課題になっている。これは地域で差がある。私どもまだまだピンとこない部分がある。ただ、製造業の方に聞くと人手不足、人材不足ということがよく言われる。先月に中小企業サミットという都市サミットを行っている。墨田区や川口市あたりは外国人労働者の受け入れのための体制作りを早くして欲しいということ国に強く訴えている。今回はそういう意味でも形になったのかなと思っている。その方達がものを買うことで経済の活性化が進んでいるという見方をしているようである。私達も承知はしているので、この国にとって、また来る方にとってどういう形がいいのかということこれから考え方、制度といったものを考え、積み上げなければいけないかと今のところ思っている。ただ、実際に活躍されている外国人の方もいるので、そういった方への評価もしていかなければと思っている。

その他なにか意見はあるか。

<特になし>

企画課長

7 閉会